

## 平成30年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日

### 施設状況

施設名称	ふじみ野市立放課後児童クラブ(東地区)	所管課	こども・元気健康部子育て支援課
指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	施設分類	子育て支援施設
指定期間	平成27年4月1日 ～ 平成31年3月31日	利用料金制導入	なし(指定管理料のみ)
導入年月日	平成23年4月1日	指定回数	2回
施設設置目的	小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により、昼間家庭にいないものにつき、家庭、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、当該児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、もって当該児童の健全な育成を図る。		
施設概要	福岡・第2福岡・第3福岡放課後児童クラブ(定員120名、延床面積391.5㎡)、駒西放課後児童クラブ(定員70名、延床面積192.53㎡)、第2駒西・第3駒西放課後児童クラブ(定員80名、延床面積237.66㎡)、上野台・第2上野台放課後児童クラブ(定員120名、延床面積311.36㎡)、西放課後児童クラブ(定員70名、延床面積164.79㎡)、第2西放課後児童クラブ(定員70名、延床面積220.27㎡)、元福放課後児童クラブ(定員70名、延床面積151.26㎡)、さぎの森放課後児童クラブ(定員66名、延床面積170.79㎡)		
管理運営の基本方針	児童クラブ施設の管理について、児童福祉法及びふじみ野市立放課後児童クラブ条例の趣旨に則り、児童クラブ設置の目的を効果的に達成することを目的とし、住民サービスの向上と業務の効率化を目指す。		
指定管理者の主な業務	放課後児童クラブの保育実施に関すること。 児童クラブの施設、設備等の維持管理に関すること。		

### 【評価項目】

【評価基準】 5: 目標値以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合 / 4: 目標値以上の結果で評価できる場合(上記「5」以外)、又は業務等が適切で、期待する水準以上であった場合 / 3: 業務等が適切で目標値に達している場合、又は業務等が期待する水準どおりであった場合 / 2: 実施計画に基づく管理運営や事業の実施が目標値又は期待する水準をやや下回る場合 / 1: 目標値を大きく下回る場合

#### 1 施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか		評価
管理運営状況	公の施設を指定管理するものとして不適切な事項を行うことがあったものの、概ね設置目的や自ら提案した内容に沿った管理運営であった。また、特別に配慮が必要な児童に関することや、虐待の早期発見のための情報提供が積極的に行われていた。	3
区分	具体的な取組の状況・実績	
子どもの成長への貢献	「こども会議」や「こどもアンケート」を実施し、児童の主体性や社会性並びに創造性を高める保育を実施していた。ただし、児童の主体性を重んじるばかり、児童を通じて保護者に配布した通知について、児童が家庭に持ち帰らず放課後児童クラブに置き続けていても、持ち帰るように促す声かけや指導などをせず、配布物が保護者に届くのが相当期間後になってしまう事例があった。	
保護者の子育てへの貢献	・保護者会の際、ビデオなどを用い、保護者に対し積極的に児童の放課後児童クラブでの様子を伝えている。 ・保護者も参加する行事を計画し、保護者同士の交流の機会を設けている。	
地域のまちづくりへの貢献	「こどもフェス」「焼いも会」の開催、地域住民の協力を得た行事の開催など、児童が地域社会と交流する機会を設けている。	

#### 2 指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
特記事項(問題等があった場合)		3

3 施設の有効活用

施設利用状況		利用区分等	予定(計画・目標) 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価
		平均在籍児童数	598 人	614 人	105.5%	102.7%	
		(特記事項) 昨年度利用実績…582人					
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由			
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の運営に関する事</li> <li>施設及び設備の維持管理に関する事</li> <li>個人情報保護、守秘義務及び本業務に関する情報の公開に関する事</li> <li>意見・要望への対応</li> <li>運営改善の取組に関する事</li> <li>児童の保育及び健全育成に関する事</li> <li>その他指定管理に関する業務</li> </ul>					
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休み(夏休み・冬休み・春休み)の一時保育</li> <li>延長保育</li> <li>屋のお弁当注文サービス(概ね月・水・金曜日に実施)</li> </ul>		長期休暇において、開室時間を早めて欲しいという保護者の要望に対応するため、夏季朝延長保育を実施(試行)した。			
利用サービス向上の取組	平成30年度は、以前から要望のあった長期休暇における朝延長保育を夏季休暇期間に実施した。通常の延長保育より割高な料金設定ではあったものの、サービスの向上に努めた。						

3

4 利用者評価

区分	内容		評価
利用者の要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	
	(2) 調査、会議等の内容 【実施時期】平成30年12月12日～12月21日 【調査方法】利用保護者に対し、アンケートを実施。 【調査項目】①保護者への対応②子育てに関する相談対応③情報提供④支援員等と児童の関係⑤児童同士の関係⑥保護者同士の関係⑦保育内容⑧保育行事⑨遊具・施設⑩おやつ提供⑪利用時間⑫保護者懇談会実施方法⑬総合的印象		
	(3) 調査、会議等の結果 配布数…504世帯。回答数278世帯。回答率55.2%。 ・回答を「満足」「やや満足」「ふつう」「やや不満足」「不満足」の選択制で調査した結果、各項目とも「満足」～「ふつう」は92%を超えている。 ・⑬「総合的印象」の項目の評価が最も高く「満足」「やや満足」が91.4%、一方最も評価が低い項目は、⑨「遊具・施設」で「やや不満足」「不満足」が7.2%であった。		

利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブの事で相談させていただいたことが何度もあるが、子どもの不安をとりのぞいてくれ、安心して送り出すことができている。</li> <li>・手作りや工夫されたおやつが多く満足している。</li> <li>・イベントも多く子どもも楽しめ、親の負担もほほえないため大いに満足している。</li> <li>・昔ながらのおもちゃや知育系の手作りおもちゃがうれしい。</li> <li>・日常の様子を保護者会の時など、詳しく教えてくれる。</li> </ul>
	(2) 苦情・改善等の要望事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>①夏季休暇中の注文弁当は毎日でもよい。</li> <li>②児童一人当たりの支援員の数が足りない。</li> <li>③しかかっているときの声が大きすぎる。</li> <li>④子ども間のトラブルなどの報告を依頼しているにも関わらず、適当に対応し、謝るだけで問題解決しようとしていない。</li> </ul> <p>《対応措置》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①注文弁当がない日において昼食作りや弁当作りを実施することもあり、保護者の負担軽減に努めている。また、保護者が弁当を作る日を設けることで、食をとした家族との繋がりを持てるようにしている。</li> <li>②仕様書を遵守した配置を行っている。</li> <li>③職員会議などにおいて、どのようにしたらよいかなど、改善策を検討している。</li> <li>④保護者と極力直接会って話しをする機会を設け、わかりやすく話しをすることで、正確な問題点の把握に努めている。また、必ず問題解決に向けた取り組みを行うよう努めている。</li> </ul>

5 事業収支

	指定管理者収支(平成30年度)				市の収支				評価	
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算(前年度)			
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額		
収入	利用料金	0	利用料金	0	歳入	施設使用料	54,695,550	施設使用料	51,915,918	2
	指定管理料	123,000,000	指定管理料	133,234,000		行政財産使用料	1,708	行政財産使用料	1,708	
	自主事業※	1,420,000	自主事業※	3,207,150		国庫支出金	26,155,483	国庫支出金	22,651,984	
	雑入		雑入			県支出金	26,155,483	県支出金	22,651,984	
						その他		その他		
	計	124,420,000	計	136,441,150		計	107,008,224	計	97,221,594	
支出	人件費	103,123,000	人件費	107,702,078	歳出	修繕料	203,040	修繕料	399,621	2
	消耗品費	2,400,000	消耗品費	2,878,460		保険料	109,503	保険料	95,528	
	光熱水費	2,800,000	光熱水費	3,907,904		指定管理料	133,234,000	指定管理料	132,477,586	
	委託料	855,000	委託料	1,257,844		業務委託料		業務委託料		
	賃借料	660,000	賃借料	2,034,583		土地・建物賃借料	576,705	土地・建物賃借料	576,705	
	通信費	680,000	通信費	1,119,663		その他		その他		
	保険料	620,000	保険料	957,581						
	修繕費	840,000	修繕費	347,307						
	事業費(市指定事業)	720,000	事業費(市指定事業)	847,221						
	事業費(自主事業)	420,000	事業費(自主事業)	3,263,943						
	公租公課		公租公課							
	現場管理費		現場管理費	63,662						
	一般管理費(本社経費等)	11,302,000	一般管理費(本社経費等)	12,200,000						
	計	124,420,000	計	136,580,246		計	134,123,248	計	133,549,440	
損益	0		△ 139,096	差引	△ 27,115,024		△ 36,327,846			
自主事業収支(単位:円)	収入	1,420,000	収入	3,207,150						
	支出	420,000	支出	3,263,943						
	損益	自主事業損益	1,000,000	自主事業損益	△ 56,793					
分析	人件費比率【人件費/指定管理者事業支出】							78.9%		
	事業収支における経営分析				児童数増加に伴う支援単位の増加により、支援員等を増員したことから指定管理料が10,234,000円増額している。年度計画額と収支実績額には多くの費目において差異が生じているが、児童数増加や指定管理期間中における整備による施設の増加が原因であると考えられ、一般管理費を除く事業収支は概ね適正と評価できる。一般管理費については、公の施設の指定管理者監査において、収支決算書の収入と支出が等しいのは不適切であり、指定管理者の収支が正確に把握できないため、利益が生じたものは事実に基づいて正確に報告するよう指摘され、結果報告書にも「経理事務において、透明性の確保の観点から課題点がみられた」との記載があったにも関わらず今年度も不透明な部分は改善されていない。					
一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由				特質すべき大きな差は生じていない。ただし、一般管理費が占める割合が高く、かつ監査において指摘されているにも関わらず不透明な部分が改善されていない。						

6 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
市との連携	1 市への報告、連絡、相談又は協議が適切に行われたか	適	3
	2 市からの指示等に対し適切な対応が図られたか		
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか	適	
	配置実績 運営及び事務を統括する統括責任者1人、労務管理及び経理事務等の担当者を1人以上配置各施設に2人以上の常勤放課後児童クラブ支援員を配置し、1人を責任者となる所長とし、1人を所長の代理となる副所長とする。 設備運営基準条例第8条第3項各号に定める資格を有する者を、各支援単位につき1人以上配置する。		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	適	
	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	適	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	適	
	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
その他	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	適	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか		
特記事項			

7 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも「否」の場合は「1」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		
特記事項			

総合評価

【総合評価】 S:極めて優れている/A:優れている/B:やや優れている/C:適正である/D:努力が必要である/E:改善が必要である

評価項目		評価	総合評価		子育て支援施設
総合評価	施設の設置目的の達成	3	C		
	指定管理者の健全性	3			
	施設の有効活用	3			
	利用者評価	4			
	事業収支	2			
	管理運営全般	3			
	危機管理体制	3			
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期目の指定ということもあり、地域性や児童との関係も理解が深く、安定した運営と評価できる。</li> <li>・保育の内容については、総合印象評価で「満足」「やや満足」で91.4%の満足度評価を得ており、利用者からの評価が高い。</li> <li>・公の施設の指定管理者監査において、「経理事務において、透明性の確保の観点から課題点がみられた」との記載があったにもかかわらず、今年度の報告においても不透明な部分が多く、改善されていない。</li> </ul>			
取組・改善案等	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項		
	引き続き職員の確保に協力していくとともに、開室時間の延長等の課題の解決に取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の離職に伴い、法人内の応援によって職員数を確保している時期があり、職員の確保に苦慮していた。</li> <li>・開室時間の延長については、夏季朝延長保育を実施することで改善に取り組んでいた。</li> </ul>	次年度については、他の指定管理者に変更になるため、目標・取組・改善事項は特にない。		

## 指定管理者自己評価

### (1) 評価期間の取組に対する評価

#### ① サービス向上に向けての取組

##### ○保護者の利便性を考慮して

・各放課後児童クラブと事務所両方での入室申請書の受付を行った。例年行っていた入室説明会については、担当課と協議の上、次期指定管理者が実施することとなったため、行っていない。

また、平成31年度申請児童については、次期指定管理者と協議の上、個人情報等の観点から行わなかったが、途中入室時においては、児童・保護者・支援員三者による面談を行った。

・毎月初旬に発行している「クラブだより」は写真をカラーで掲載するなど、見やすさを重視しながらクラブでの子ども達の様子をご家庭に伝えた。

・帰宅後の家庭での負担軽減のため、子ども達が宿題等の学習に取り組みやすい環境作りに努めた。

・平日の行事だけでなく、土曜日等を利用した行事を行う事で、保護者の参加もあり大変喜ばれた。

・保護者の希望から、夏休み時に前延長保育(7:30～8:00)を実施。

##### ○保育の質の向上のために

・季節感を大切に年間をとおして、季節ごとの壁面制作物をはじめ、工作やおやつ等で季節を直接感じられる行事を行った。

・日々の業務の中で、始まりと終わりに各クラブでミーティングを行い、児童についての事例の共有と共通理解に向けた話し合いを行った。また、定例での内部研修も頻繁に行った。更に、法人内外での研修を受けた職員は、研修内容を他の職員との共有を行い二次的な研修としている。内部他現場交換研修実施。

・危機管理研修を行い、リスクマネジメントの大切さを確認し合い、法人内外の事例を基に具体的にどう対応するかを自ら考えられるよう実施した。毎月ヒヤリハット報告を出し合い、クラブを超えた情報・対応策の共有を行った。

また、リスクマネジメントの観点から、児童が全員入室した後はクラブの玄関について施錠対応とした。

・食物アレルギーのある児童に対応できるよう「食物アレルギー研修」を行い、その中で緊急対応も出来るよう「補助治療薬」を実際に使った体験研修も行った。

・普段のおやつから“手づくりおやつ”を取り入れているが、児童自身で行う「おやつ作り」「お昼づくり」「お弁当の日」を通して、食の大切さを知る機会としている。(食育活動)

・大きな規模で行う、合同運動会・合同キャンプ(群馬県1泊2日)・合同交流会を実施し、児童だけでなく保護者間の交流も図る事ができた。

・子ども達が楽しい!と感じられる児童クラブをめざし、「こども会議」や「こどもアンケート」を実施し、好きな行事やおよつつの把握と共に子ども達が普段感じている事の見える化を行い、保育の実践に取り入れた。

##### ○地域との連携

・学校との連携への取り組みとして、職員が学校公開や運動会・音楽会・おまつり等に足を運び、児童の学校でのようすを直接知るよう努めた。また、配慮の必要な児童については、頻繁に情報共有を行った。防犯会議への出席。

・「放課後子ども教室」と話し合いを行い、交流会や合同行事を行った。

・地域の方のご協力で、パン教室やお絵描き教室、いもほり体験等々有意義な行事を行う事ができた。

・多くの地域の方々への応援を頂きながら、「こどもフェス」を実施する事ができた。来場者は800名を超え、これまでで一番の賑わいとなった。

「こどもボランティア」「おとなボランティア」に大勢の方が参加して下さり、一緒に盛り上げてもらった。

・地域活動として「焼きも会」実施した。毎年楽しみしているとの地域の方からの声を頂く。

#### ② 業務の効率化に対する取組

・児童クラブ運営に必要なものは、事務所で一括購入・管理を行い、各クラブでの金銭管理や購入の手間を省く事ができた。

・おやつ代についても、金銭管理は事務所で行った為、金銭事故等はない。

・保護者からの連絡やミーティング内容、共有するべき事項について、職員用連絡帳等を活用し、職員間での共有漏れをなくした。

・危機管理を始め、運営上必要な業務に関して担当者を決め、話し合い等を行った。また、内容によっては各クラブから1名以上の担当者を出し、全体での共有も図った。

・毎朝「自主検査チェック表」を点検を行いながら記載した。

・年4回の施設点検を行い、環境整備を図った。

#### ③ その他

・子育て支援課と連携がとれるよう最大限努めた。

・「こども支援」だけでなく、「親支援」も念頭に置き、保護者の悩みや不安に真摯に向き合い、課題解決のため一緒に考え、時には助言も行った。

・かみふくおか七夕まつりに竹飾りを出展し、「奨励賞」を頂いた。

・法人が主催者となって行った様々な事業に対し、多くの子どもたちや保護者、地域の方々の参加や協力があり、大変感謝している。単なる放課後児童クラブの指定管理者としてだけでなく、地域に貢献することができた事を嬉しく思う。

### (2) 管理業務実施上の課題

・これまで、互いへの理解・協力を深めながら一緒に様々な対応を行ってきたが、突然これまでにない対応指示をされる担当課に戸惑う事が多かった。担当課から保護者より苦情があったと連絡が入るも、所管が間に入ることによって保護者と直接話をする機会が損なわれ、詳細な事項が分からないまま進められる事があった。担当課に苦情が入って1ヶ月たった後に、担当課から連絡を頂くこともあり、児童クラブとしての対応が遅れた事がとても残念だった。

・指定管理者の範疇を超える修繕については、大きな事故につながりかねないため、応急的な処置ではなく、根本解決のための修繕を行う方向で協議が必要と考える。

・児童クラブ近隣への駐車について課題解決のために、市や学校と更なる話し合いが必要と感じる。

### (3) 次年度以降の取組

・ふじみ野市立放課後児童クラブの運営からは離れるが、ふじみ野市の子ども達が、健全に育つよう今後もこども支援・親支援等、地域の子育て支援に協力貢献していく。

・長期学校休業中の一時保育をはじめとした民設民営の放課後児童クラブを運営する。保護者の就労を保障するため、豊かな保育を実施し、子どもの居場所となれるよう務める。また、小規模児童クラブの特性を生かし、子ども達の「やってみよう!!」を実現できる放課後児童クラブを運営する。